

令和6年度 後川内小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン： 「高め合い、支え合い、一日一歩前進する学校」を目指す。

評価基準 4～期待以上（90%以上） 3～ほぼ期待通り（70～90%） 2～やや期待を下回る（50～70%） 1～改善を要する（50%以下） ※項目の赤字は、本年度新たに加えたり、修正したりしたもの

	評価項目	評価指標	具体的な数値目標	方策・手立てについての反省	評定		学校関係者評価コメント
					自己	学校関係者	
I 学力の向上	1 授業の工夫改善 ・ICT活用 ・ユニバーサルデザイン	○ 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、「分かる」まで教え「できる」まで見届ける授業改善を行う。	○ 個に応じた少人数指導の充実を図り、授業が「分かる」「できた」と答える児童を87%以上にする。	○ 学校評価における児童の自己評価は96%であり、目標を上回った。ICTの積極的な活用と、教師が一方的に教えたりするのではなく、話し合いや協働的な学習の充実を図ってきた。	3.1	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用の成果が出てきていると感じる。</li> <li>少人数ならではの、手厚い指導ができています。</li> <li>「2極化」の課題への対応に今後も取り組んで欲しい。</li> <li>難しい問題だが、読書活動の充実とスマートフォンやタブレット等との利活用の問題に取り組むことが大切である。</li> <li>読書活動の充実のため(本のよさに触れさせるため)に、今後も工夫・改善を図っていく必要がある。</li> </ul>
	2 教員相互の学び合い ・校内研修(授業研究)	○ 研修の成果を授業力向上に生かすことで、児童の学力向上を図る。	○ 各種学力テスト等で、県・全国平均以上の正答率を目指す。	○ 各種学力調査では、全国平均をクリアした児童と、及ばなかった児童の2極化が大きい。基礎的・基本的な内容の定着も重視して指導していく必要がある。	3.1		
	3 読書習慣の育成	○ 学校司書や家庭と連携し、読書習慣を育成する。	○ 児童の読書目標達成 87%以上を目指す。	○ 読書を好んで読む児童は比較的多いが、習慣づけが難しい。次年度「うち読」を推奨する取組を再開する。	2.9		
II 心の教育・生徒指導の充実	1 望ましい行動様式の確立 ・スクールワイド PBSの推進	○ 日々の生活における基本的な行動様式が日常的にできるように指導を継続する。	○ 学校評価アンケートの児童調査において、あいさつや時間を守ることができると答える児童87%以上を目指す。	○ 児童の評価は85%であったが、あいさつや時間を守る行動、廊下歩行など十分な指導の成果が表れていると評価できる。	3.3	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で、遠いところからでも大きな声であいさつする姿が見られるのでよいと思う。</li> <li>子ども同士のあいさつが、更にできるとよいと思う。また、家族間でも「ありがとう」の言葉を大切にしてもらいたい。</li> <li>言葉遣いが雑になることが見かけられる。</li> <li>後ろキッズの活動が、今も継続されていることがうれしい。</li> <li>いじめ不登校への対応（指導）を、今後も引き続きお願いしたい。</li> </ul>
	2 児童の主体性の向上	○ ピア・サポート活動の推進と、うしろキッズの活動等の活動機会を通して、主体性を育む。	○ 学校評価アンケートの児童調査において、行事や集会活動等に主体的に取り組むと答える児童を87%以上にする。	○ 児童の評価は96%が達成したと感じている。児童主体的で、自治的な活動が見られ、今後も同様の取組で充実を図りたい。	3.6		
	3 人権教育の推進	○ 地域と連携し、教育相談や「育みの会」を充実させ、いじめ・不登校を未然に防ぐ。	○ いじめ・不登校解消率100%を目指す。	○ いじめ・不登校ともに認知数は0であった。今後も児童の豊かな心の育成、道徳心の高揚に力を入れていきたい。	3.3		
III 健康安全の推進・体力向上	1 体力向上プランの実践と運動量確保	○ 「スクールスポーツプラン」に基づいた実践及び個に応じた指導により、体力アップを目指す。	○ 「スクールスポーツプラン」のDE段階10%以下を目指す。	○ 昼休みなど、ほぼすべての児童が外で遊んでいる。また、体育では課題であった投擲力の向上が見込まれる備品を購入して実践しているが、体力の2極化が顕著であった。	3.3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上について、休み時間などは、外で遊んでいるということを聞いて、このことが大切だと思った。</li> <li>体力テストの結果を可視化し、本人に目標をもたせてがんばってもらいたいです。</li> <li>児童は、地震や風水害の被害等の具体的体験がないので、今後も危機管理能力の育成に努めてもらいたい。</li> <li>登下校時は、周囲の人や車などに十分に気を付けて欲しい。信号待ちの時に少し下がって待つ、車道側から離れて歩く等、気を付けて欲しい。</li> <li>弁当の日は素晴らしい活動なので、今後とも続けて欲しい。</li> </ul>
	2 危機管理能力の育成	○ 危機に関して、児童が自ら考えて行動できる力を育てる。	○ 危機に関して、自分で命を守る行動ができたと答える児童 87 パーセント以上を目指す。	○ 児童評価は88%と目標を達成している。咄嗟の事態に、すぐ避難行動をとれるように指導を行う。職員も共通理解している。	3.5		
	3 保健・食育の推進	○ 個に応じた保健指導をもとに自己の健康を守る意識と実践力を高める。 ○ 日々の給食指導や食に関する指導を推進する。	○ う歯治療率100パーセント、児童の無欠席50日を目指す。 ○ 弁当の日に取り組む児童 100%を目指す。	○ う歯治療率100%は到達しなかった、授業や保護者への啓発を進めていく。 ○ 親とともに楽しく「弁当の日」の実践が行われ、食への関心が高まっている。	3.6		
IV 「信頼される学校」づくり	1 中学校、家庭、地域との連携	○ 小・中学校合同行事の充実 ○ 保護者・地域との連携を図り、地域の力や特色を生かした取組を推進する。	○ 小中合同の行事、保育所等との交流会活動、地域行事へ関わろうとする児童の育成を目指す。	○ 本年度も運動会・高齢者とのグラウンドゴルフ・祭りへの参加や東雲太鼓の取組・保育園との交流学习などを実施することができた。	3.4	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童は、地域の行事等に積極的に参加している。また、感想などを言うことができるのも素晴らしいと思う。</li> <li>みんなで協力し合って、楽しくできているのでとてもよいと思う。</li> <li>コンプライアンスについては、今後も継続して取り組んで欲しい。</li> </ul>
	2 コンプライアンスの徹底と非常時対応の充実	○ 教職員としての自覚を高め、不祥事ゼロを目指す。 ○ 訓練等により、非常時の対応を徹底する。	○ ハラスメントを含む、法令違反等の不祥事0を目指す。 ○ 危機管理マニュアルの見直しや防災、防犯等の訓練を充実させる。	○ ハラスメントを含む、コンプライアンス事案の発生は0であった。月に1回は具体的な事例をもとに、職員への啓発を行う機会を設けた。	4		

【総評】	1	本年度の取組について ・先生方のご指導で、児童は明るく元気に過ごすことができている。二極化などの課題は見られるが、しっかり指導していただいているので子どもたちの力が付いてきていると思う。
	2	次年度への改善に向けて ・今後も少人数のよさを生かしつつ、児童一人一人に応じたきめ細かな指導をお願いしたい。また、閉校の年となるが、児童や保護者、地域にとって心に残る一年にしてもらいたい。